

2025 年は、夏の暑さが非常に厳しく、愛知県における熱中症(疑いを含む)による救急搬送者数が2024 年を約 270 人上回る 6,653 人となるなど、気候変動の影響を強く感じた一年でした。名古屋地方気象台等は、愛知県の今世紀末の年平均気温について、パリ協定の 2℃目標が達成されたとしても、20 世紀末と比べて約 1.4℃上昇すると予測しており、気候変動への適応は、避けられない重要な取組課題です。

○ 県環境調査センター公開デーで気候変動適応について普及啓発を行いました

12 月 6 日(土)に県環境調査センター公開デーで開催した「キミは気候変動に適応できるかな?~すごろくゲームで学ぼう!~」を紹介します。

今回は、気候変動の影響やそれに対する適応策等を取り上げたすごろくゲームを通して、参加者の皆さんに、気候変動適応について楽しく学んでいただきました。参加者からは「適応のことがわかった。」

「子ども達でも取りかかりやすく親子で楽しめた。」

などの感想が寄せられ、多くの方に気候変動適応への理解を深めていただくことができました。



すごろくゲームを楽しむ様子

○ 「気候危機対策交流フォーラム」を開催します

県では、愛知県地球温暖化防止活動推進センターとの共催で、「気候危機対策交流フォーラム」を開催します。皆さんが、気候危機に対して何をすべきか、何ができるかを考える内容となっていますので、是非

ご参加ください。

1 日時 1 月 22 日(木) 13:30~16:30

2 場所 ウィンクあいち 1302 会議室
(名古屋市中村区名駅 4-4-38)

3 内容

(1) 基調講演

「気候変動：リスクか、チャンスか」

国立研究開発法人国立環境研究所
気候変動適応センター

副センター長 上田 健二 氏

(2) 話題提供

「地域の恵み繋いで育てる

バイオマスエネルギー循環」

半田市環境課 主事 片山 高也 氏

「脱炭素が当たり前の地域課題に対応した
交通のあり方」

(公財)豊田都市交通研究所

研究部長 山崎 基浩 氏

「エネルギーで地域強靱化も・農地活用ソーラー
シェアリング」

(一社)中部ソーラーシェアリング

やろまい会 代表理事 北井 久美絵 氏

(3) 会場交流トークセッション

4 参加費 無料(事前申込制)

申込方法等の詳細は、Web ページをご覧ください。

(<https://www.kankyosoken.or.jp/>)

愛知県気候変動適応センター

(環境調査センター 企画情報部)

電話 052-910-5489 (ダイヤルイン)



愛知県気候変動適応センターだよりのバックナンバーはこちら
<https://www.pref.aichi.jp/site/ailccac/tekiou-dayori.html>

